

医学系研究に関する情報公開について

下記の研究は、福岡大学医の倫理委員会から承認され、医学部長の許可を得て実施するものです。インフォームド・コンセントを受けない場合において、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第5章 第12.1に基づき、以下の通り情報公開いたします。

研究課題名	アトピー性皮膚炎に対する全身療法の長期効果と安全性および治療継続率に関する調査
研究期間	医学部長許可日 ~ 西暦 2027年05月31日
研究責任者	皮膚科学 講師 (4-7) 佐藤 紘美
試料・情報の収集期間	<input type="checkbox"/> : 新たな情報を取得する場合 医学部長の許可日 ~ 西暦 2026年04月30日 <input checked="" type="checkbox"/> : 既存試料・情報を利用する場合 ■後向き期間 : 西暦 2016年01月01日 ~ 医学部長の許可日 ■前向き期間 : 医学部長の許可日 ~ 西暦 2026年04月30日
研究対象者	2016年1月から2026年4月までに福岡大学病院皮膚科を受診し、アトピー性皮膚炎と診断された患者
研究の意義と目的	アトピー性皮膚炎は日本人の10%近くが持っている一般的な皮膚の病気です。乳児湿疹から始まり子供や若者に多く一般的に40歳以降からよくなる傾向があります。近年成人（高齢）発症のアトピー性皮膚炎という概念も誕生し現在調査が勧められています。福岡大学病院皮膚科を受診されるアトピー性皮膚炎の患者さんは、クリニックで処方される塗り薬だけではよくならなず、飲み薬や注射などの全身治療を必要とする重症の患者さんが多いです。この全身治療薬は現在のところ6種類で、副作用などを慎重にみながら投与するお薬になります。今後もアトピー性皮膚炎には新しい全身治療薬が出てくると思いますが、現在の全身治療薬の中でアトピー性皮膚炎の患者さんに最も負担が少なく長く効果が期待できるものはどれか検討することにしました。
研究の方法	2016年1月から2026年4月末まで福岡大学病院皮膚科を受診し、アトピー性皮膚炎と診断された患者さんの電子カルテの情報を参考させていただき、それをもとに解析を行います。
研究に用いる試料・情報	診療録、検査データ、臨床写真データ
外部への試料・情報の提供	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
外部からの試料・情報を利用	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
情報管理責任者	皮膚科学 講師 (4-7) 佐藤 紘美
研究のための試料・情報を利用する者	本学：医の倫理委員会で承認され医学部長から許可された研究者 他施設：各施設の倫理委員会で承認され研究機関の長から許可された研究者
個人情報の保護	収集した試料・情報は、匿名化（どのデータが誰のものか分からなくなること）した上で本研究に利用します。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
研究協力の任意性と撤回の自由	この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究に参加を希望されない方（患者さん自身がすでに亡くなられている場合にはそのご家族）は下記の問い合わせ先へご連絡

	<p>ください。患者さんの試料・情報を本研究に利用しません。ただし、ご連絡を頂いた時点で、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、試料・情報を削除できないことがあります。不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡ください。この研究への試料・情報の利用を断つても、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはあります。また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について	患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止することができます。試料・情報の利用または提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。
問い合わせ先	所属：福岡大学病院 皮膚科 担当者名：佐藤 絵美 電話番号：092-801-1011 対応可能時間：月曜から木曜の9:00から17:00まで